

One for Israel

IDF (Israel Defense Forces) とメシアニック兵士



恵比寿聖書フォーラム

2021.6.7



中東戦争



- 1948年5月14日 イスラエル国として独立宣言。
5月15日 **第1次中東戦争**。
レバノン、シリア、トランスヨルダン、エジプト、イラク
後に、サウジアラビア、イエメン、モロッコ ※ヨルダンがエルサレムを占領
- 1956年7月 **第2次中東戦争**
エジプトのナセル大統領のスエズ運河国化有宣言に対し、英・仏・イスラエルの3か国軍がスエズ運河に侵攻。アメリカの仲裁により、3か国は撤退
- 1967年6月5日 **第3次中東戦争（6日間戦争）**
1964年ヨルダン・アンマンを本部としたパレスチナ解放機構（PLO）が結成され、イスラエルに対するゲリラ闘争を行っていた。

1966年2月、シリアでクーデターが発生し、PLO支持のアタシ政権が樹立すると、国内の混乱も収まらないうちにゴラン高原からイスラエル領内へ砲撃を加え始めた。
- 1973年10月6日～10月24日 **第4次中東戦争（ヨム・キプール戦争）**
※エジプトのサダト大統領がシナイ半島奪還を目指して攻撃開始
- 1979年 イスラエル・エジプト平和条約

ガザ紛争



- 1982年 レバノン侵攻
- 1991年 湾岸戦争
- 1993年 オスロ合意
 - ※PLOによるヨルダン川西岸及びガザ地区の自治が始まる
 - ※ハマスとPLOの対立が始まる

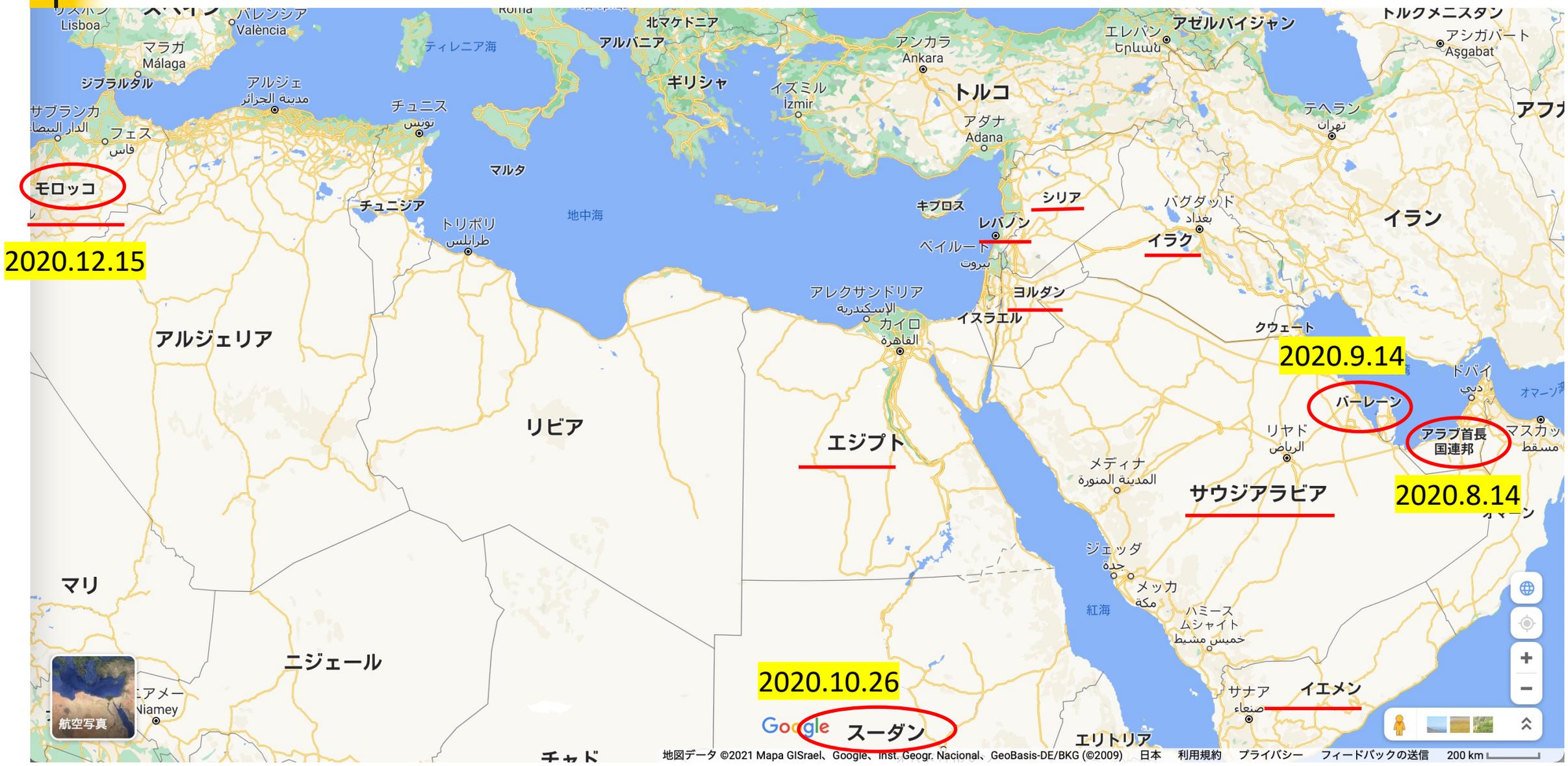
- 2005年3月 PLO大統領選挙
- 2006年 ガザ紛争
 - ※パレスチナ総選挙でハマスが第一党に

- 2007年 ハマスがガザ地区を実行支配
 - ※ハマスとファタハが分裂状態に

- 2008年 ガザ紛争 (ハマスVSイスラエル)
- 2013年 ガザ紛争 (同)
- 2014年 ガザ紛争 (同)
- 2021年 ガザ紛争 (同)



国交正常化



IDFとメシアニック兵士



(1) IDF イスラエル国防軍

- 1948年5月26日 ベン・グリオン首相によるIDF創設 命令 (5月14日にイスラエル独立宣言)
- およそ17万人
- 志願兵もいるが、大半が徴兵制による兵士 (18歳で入隊。男性 3年、女性 2年)
- ユダヤ教 超正統派の神学生は兵役免除 政治課題の一つ
- 国家への忠誠の誓い
エルサレムの西壁など部隊毎に 様々な場所で行われる。

IDFとメシアニック兵士



(2)メシアニック兵士

IDFの兵士の中で メシアニック・ジューである兄弟姉妹達

○人数の変化

2000年 20-30人 → 2021年 450-500人へ増加

○イメージの変化

民族に対しての裏切者 → 倫理的な言動により 信頼、尊敬の的

IDFとメシアニック兵士



(3) 霊的な砂漠

兵役に就くと、寝食共にする仲間に対して信仰を隠せなくなる

拒否されることを恐れる、恥の意識で入隊前は人前では信仰を隠していた

兵役に就いているだけで、精神的、社会的、霊的に困難な状況に置かれる

妥協して、信仰を一時保留状態にする人→霊的成長がストップ 信仰から離れてしまう人

2019年 One for Israel の兵士のためのミニストリーチームが 意識調査を実施 160名のメシアニック兵士が 回答

- ・80%の人が 信仰に関して困難を感じる
- ・30%の人が 所属部隊で 自分は証し人になっていない気がする
- ・10%の人が 霊的困難を感じた時、牧師に相談する
- ・45%の人が メシア預言を説明できるツールや知識が不足していると感じる
- ・42%の人が 基地で信者が自分だけなので、社会的孤立感を感じる
- ・40%の人が 所属会衆(教会)の一員という気がしないし、自分に関心を持ってもらえていないと感じる
- ・30-40%の人が 兵役を終える頃には 信仰から離れてしまう

IDFとメシアニック兵士

(4) ツォフェン・ミニストリー

若者の信仰離れに 神学をベースにして 歯止めをかける働き
IDFに所属している期間は、伝道の機会であり、霊的に成長する機会となる

- ① IDF入隊前のメシアニック・ジューの高校生たちに 入隊のための準備支援: 聖書的価値観、自己認識、信仰の成長に必要なツールの提供
- ② 現役のメシアニック兵士たちに 聖書を教えるなどの弟子訓練 → 信仰の安定、良き証し人へ
- ③ 兵役を終えたメシアニック・ジューの人たちへの弟子訓練 → 所属会衆への復帰と社会生活 への復帰支援

(5) 今後に向けて ミニストリーの手応え

- ・ 81%のメシアニック兵士が ツォフェン主催の聖会や学びの会が 兵役時代の霊的ニーズを満たす内容だと回答
- ・ 74%のメシアニック兵士が ツォフェンが毎週スマホに配信する動画やデボーションが基地での聖書研究の神学的土台となったと回答

調査結果から 正しい方向性であると確信。今後も 神様の御手の中にあって メシアニック兵士や若者を助ける器として用いられたい